

候補者推薦書記載要領

1 推薦する部門について

宮崎県文化賞は、各部門ごとに、業績をあげられた方々へ授賞することにしております。

候補者の業績が、どの部門に該当するかを十分検討して推薦してください。

ただし、候補者が推薦を受けた部門以外の部門にふさわしいと選考審査会が判断し、推薦書内にある【推薦する部門】下段にある「※上記の選択した部門以外の部門での選考対象としてよい。」の『□よい』にチェックされている場合は、推薦する部門以外の部門の受賞候補者とする場合があります。

そのため、推薦する部門以外での選考対象の希望の有無について、該当箇所には必ずチェック（☑）をしてください。

なお、推薦にあたっては、候補者、候補団体の了承を得てください。

2 推薦書記入にあたっての留意事項

(1) 共通

- ① 現住所が宮崎県以外の場合は、本県出身者であることがわかるように、経歴欄に記入してください。
- ② 候補者が故人の場合は、「候補者氏名」欄へ、氏名の後に『（故人）』と追記し、「その他参考となる事項」欄に、死亡日を記入してください。
- ③ すべての部門について、候補者の業績が本県文化の向上発展にどのように貢献したかが分かるように可能な限り詳細に記入してください。
- ④ 学術部門、技術部門、芸術部門は、近年の業績が評価対象となるため、近年の受賞等の功績を記入してください。
- ⑤ 文化功労部門、体育・スポーツ部門は、永年の業績が評価対象となるため、永年にわたる活動内容や本県への貢献を記入してください。

(2) 個別

- ① 学術部門
研究内容の独自性等が分かるように記入してください。
- ② 技術部門
発明、研究が産業の発展にどのように貢献したかが分かるように記入してください。
- ③ 芸術部門
芸術性の高さや作品の特徴等が分かるように記入してください。
- ④ 文化功労部門
地域文化に貢献した永年にわたる活動内容等が分かるように記入してください。
- ⑤ 体育・スポーツ部門
体育・スポーツ分野の永年にわたる指導等の活動内容等が分かるように記入してください。

3 推薦書に添付する資料について

それぞれの推薦部門に応じて、推薦書に記入した候補者の業績や活動内容を示す資料をできるだけ添付してください。

(1) 各部門共通

候補者の写真（正面上半身をCD-R等に保存したもの）

業績が掲載された新聞記事、関連誌記事等（外国語論文・資料等は日本語訳を併せて添付してください。）

(2) 学術部門・技術部門

推薦する業績に関する論文、特許に関する資料等

(3) 芸術部門

美術展等の入選状況等が分かる資料や作品に関するカラーの図録等

(4) 文化功労部門

推薦する分野における地域文化への貢献が分かる資料（文化団体の会報、記念誌等）等

(5) 体育・スポーツ部門

体育・スポーツに係る指導等の功績が分かる資料等

4 推薦書記入例

別紙のとおり

学術、技術、芸術部門向け（近年の業績を記入）：芸術部門記入例

文化功労、体育・スポーツ向け（永年の業績を記入）：文化功労部門記入例